

平成30年度 事業報告

負担金事業

1. 中海・宍道湖一斉清掃 【資料編 p. 1-2】

宍道湖ならびに流入河川の沿岸住民・事業所等が一斉に清掃活動を行うもの。6月の環境月間の行事として平成7年から実施しており、平成30年度で24回目となった。ラムサール条約登録を契機に平成18年度から中海圏域と併せて実施している。

実施日 平成30年6月10日（日）

参加者数 宍道湖 72団体 4,065人(全体 7,050人)住民、企業、団体等

ごみの量 宍道湖 8.06t(全体 12.63t)

2. ヨシ関連事業

宍道湖の水質保全のためには、ヨシ帯の適正な管理が必要である。引き続き刈り取り事業の実施と、刈り取ったヨシの利活用事業としてヨシ紙の幅広い利用の促進や、草抑えとしての活用に取り組んだ。

〔ヨシ刈り取り事業〕 【資料編 p. 3】

実施時期 平成30年12/15(25名)、平成31年2/23(80名)、

3/5(18名:出雲市養護学校)、3/9(154名)、3/13(19名:国交省、漁協、協力業者)、3/23(23名参加予定)雨天中止

実施場所 出雲市:「宍道湖西岸なぎさ公園」湖岸

参加者数 延べ296名(前年度336名)

刈取面積 約6,190㎡(前年度7,520㎡)

〔ヨシ紙、手すき用ヨシパルプの製作〕

実施時期 平成31年2月23日～3月29日

実施内容 ヨシ刈り取りボランティア事業において刈り取ったヨシを専門業者に委託し、ヨシ紙及び手すき用パルプを制作した。

制作数量 A3厚口紙14,900枚 手すき用パルプ12kg

[ヨシ紙活用に向けた広報活動]

実施内容 職員名刺及び職員名札や小中学校におけるヨシ紙の活用を働きかけた。

[草抑えとしての活用] 【資料編 p. 4】

実施期間 平成30年4月～6月

配布先 松江市竹矢地区（柿畑の草抑え）ほか

[環境啓発用メモ帳の作成]

実施内容 ヨシ紙を活用したメモ帳を、平成29年度作成し啓発用資材として活用している。在庫が少なくなったため1,500冊追加作成した。

3. 環境関連啓発事業

宍道湖の水環境に興味を持つ契機とすることを目標に、小学生や若い世代を対象に、水と直接的に触れ合うようなイベント、環境学習会等を開催した。また、新聞広告を活用し本協議会の意義を周知し、水環境保全意識啓発に努めた。

[環境学習会：手長エビ採り体験] 【資料編 p. 5】

実施日 平成30年8月10日（金）

実施場所 千鳥南公園水辺（松江市役所前）

事業内容 宍道湖の豊かな自然に触れてもらい、郷土愛や水環境への理解を深めてもらうことを目的にエビ採り体験を実施した。

参加者数 12名

〔環境学習会：シジミ採り体験〕 【資料編 p. 5-6】

実施日 平成30年8月23日（木）

実施場所 宍道湖湖岸（松江市玉湯町（日本シジミ研究所水辺））

事業内容 宍道湖の豊かな自然に触れてもらい、郷土愛や水環境への理解を深めてもらうことを目的に、シジミ採り体験や宍道湖産シジミを使ったみそ汁の試食のほか、日本シジミ研究所による宍道湖の水環境や生き物についての講話など実施した。

参加者数 54名（松江市38名 出雲市16名）※募集人数40名

〔環境学習会：ヨシ紙すき体験教室〕 【資料編 p. 6】

実施日 平成30年8月12日（日）

実施場所 斐川環境学習センター

事業内容 宍道湖のヨシやその刈り取りについての説明後、刈り取ったヨシで作成したヨシパルプを利用し、ヨシ紙すき体験を行い、はがきを作成した。

参加者数 30名（松江市14名 出雲市16名）

〔啓発の取り組み〕 【資料編 p. 7】

実施日 平成31年2月24日に掲載

事業内容 新聞広告を活用し本協議会の意義を周知し、水環境保全意識啓発に努めた。

山陰中央新報（りびえーる出雲エリア）1面の広告。

〔松江市環境フェスティバル〕

実施日 平成30年11月4日（日）

実施場所 くにびきメッセ

実施内容 松江市環境フェスティバルのステージイベントに参加し、「今、宍道湖で起きていること」と題し水草について講演した。

4. 斐伊川水系の上下流交流事業

治水サイドと連携し、斐伊川流域における上下流住民の相互理解を深めることで、宍道湖だけでなく斐伊川水系全体の水環境改善の意識を高めるイベントを実施した。

〔斐伊川水系上下流交流イベント：上流部住民→下流部〕 【資料編 p. 8】

実施日 平成 30 年 10 月 28 日（日）

実施場所 宍道湖（クルーズ船）、大橋川コミュニティセンター他

事業内容 治水事業関連の施設見学や宍道湖遊覧船で大橋川の水質調査を行い、斐伊川水系下流部における水環境や治水・利水への取り組みについての学習会を実施した。

参加者数 35 名（雲南市 31 名 奥出雲町 4 名）

〔斐伊川水系上下流交流イベント：下流部住民→上流部〕 【資料編 p. 9】

実施日 平成 31 年 2 月 17 日（日）

実施場所 尾原ダム、さくらおろち牧場 他

事業内容 そば打ち体験、尾原ダム等各種施設の見学など、治水と水環境保全を絡めた学習会を実施した。

参加者数 30 名（松江市 15 名 出雲市 15 名）

5. 調査研究事業

宍道湖の水環境改善に対して、より効果的な対策・施策を提案するために、平成 29 年度に引き続き専門家による勉強会の開催、および国・県と連携した水草対策を行った。

〔専門家を招いた勉強会〕

実施日 平成 30 年 10 月 2 日（火）

講師 横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院 中村由行教授

実施場所 ホテル白鳥 鳳凰の間

- 事業内容 「宍道湖水環境改善のために行政がいますべきこと」をテーマに専門とする識者を招聘して委員への講義・意見交換を行った。
- 参加者数 協議会委員、幹事、担当者、関係する行政職員 33名
- 講演の概要
- ・ 目指すべきことは、化学的な数値で示される水のきれいさだけでなく、宍道湖の特徴を踏まえ、長期を見据えた望ましい環境像を市民や流域住民が共有し、その実現を目指した目標を設定し取り組んでいくこと。
 - ・ 国が設けた一律の基準（COD、全りん、全窒素など）ではなく、地域ごとに目標を定めていくべきである。
 - ・ 宍道湖特有の塩分環境により、シジミの生物生産に繋がっている。シジミ資源量の減少は水質悪化に関係しているのではないだろうか、など。

[水草対策]

- 実施日 平成30年11月29日（木）
- 事業内容 島根県が実施する水草の根こそぎ除去実証試験の一部経費を負担した。
- 支援内容 宍道湖漁協が回収・運搬・処分する費用。

連携事業

1. 砂浜再生プロジェクト 【資料編 p. 10】

「松江イングリッシュガーデン湖岸親水ゾーン」は、平成30年度に整備を実施した。

事業主体 国土交通省中国地方整備局出雲河川事務所・松江市（親水ゾーン管理）、島根県（モニター定期調査）

事業箇所 松江イングリッシュガーデン湖岸親水ゾーン（松江市西浜佐陀町） 他

※浅場造成事業 鹿園寺箇所を実施 L=100m

[イングリッシュガーデン湖岸親水ゾーンの整備]

実施期間 国土交通省中国地方整備局出雲河川事務所

実施期間 平成30年10月12日～平成31年3月29日

実施内容 覆砂：2,300m³

突堤：新規（約40m）、既設突堤延長及び嵩上げ

2. 水草対策

宍道湖に係る水草の大量繁茂における対策については、国・県・市が連携して取り組みを行うこととしている。水草の繁茂状況について情報共有するとともに、水草の対策等実施した。

[水草等の刈り取り試験] 【資料編 p. 13-16】

事業主体 国土交通省中国地方整備局出雲河川事務所

目的 刈り取り時期による生育状況の違いと刈り取り後水深帯別の生育状況の違いを確認した。

試験内容 ①刈り取り時期による生育状況の違いを確認

・試験箇所 玉湯（松江市）

- ・試験時期 6月(6/18~20)、7月(7/17~20)、
8月(8/6~8)

- ・モニタリング日 7/2、8/9、9/18

結 果 平成30年内の再繁茂なし。根こそぎ刈り取りの効果の持続性を確認するため、引き続き今年度もモニタリング調査を行う。

試験内容② 刈り取り後の水深帯別の生育状況の違いを確認

- ・試験箇所 東来待(松江市)

- ・試験時期 7月(7/20~8/3)

- ・モニタリング日 8/9

結 果 平成30年内の再繁茂なし。試験①同様、引き続き今年度もモニタリング調査を行う。

試験内容③ 沿岸域の間引き刈り取りによる寄藻状況の確認

- ・試験箇所 鹿園寺(出雲市)

- ・試験時期 7月(7/23~8/10)

- ・モニタリング日 8/29、9/18

結 果 寄藻や漂着は確認されなかった。

[研究活動]

事業主体 国土交通省中国地方整備局出雲河川事務所

委 託 先 島根大学(研究・学術情報機構エスチュアリー研究センター
齋藤文紀教授 他)

時 期 平成28年度~平成30年度

テ ー マ 中海宍道湖のシオグサに関する研究

内 容 シオグサの異常繁茂の原因究明、分解による底層の貧酸素化等への影響解明、シオグサの有効な除去対策の検討

[宍道湖における水草等の異常繁茂による水質影響等調査] 【資料編 p. 17-18】

事業主体 島根県

実施時期 平成30年7月～平成31年1月

実施場所 秋鹿沖

事業内容 水草等の異常繁茂による底層溶存酸素量への影響を把握するための調査を実施した。また、一定範囲の水草等を除去し、その範囲及び周囲において底層溶存酸素量が維持されるのか確認する調査を実施した。

[水草の根こそぎ除去実証試験事業] 【資料編 p. 19】

事業主体 島根県

実施日 平成30年11月29日(木)

実施場所 道の駅秋鹿なぎさ公園の沖

事業内容 夏以降の抑制効果を確認するため、水草の繁茂前に根こそぎ除去試験をした。

- ・水草回収量：3kg程度
- ・平成31年3月、令和元年5月 潜水調査による状況確認

[官民連携による水草の回収から資源化・利活用までのスキームの構築]

【資料編 p. 20】

事業主体 島根県

実施時期 平成30年度～平成31年度

事業内容 地域における官民連携による水草等の回収から資源化・利活用までのスキーム構築を図るため、民間事業者の堆肥化実証試験・事業化に向けた課題抽出を実施した。

3. 宍道湖・斐伊川環境フェア 【資料編 p. 21】

環境保護に取り組む地域の団体に出展を呼び掛けて、次世代を担う子どもたちに分かりやすく、楽しく学べる場を提供した。

パネル展示・お楽しみコーナー（飲食の提供）

事業主体 宍道湖・斐伊川環境フェア実行委員会

実施日 平成30年11月18日（日）

実施場所 松江イングリッシュガーデン

参加者数 500名

事業内容 「宍道湖・斐伊川環境フェア（主題）～コウノトリがやって来た～（副題）」をテーマに斐伊川、宍道湖を中心とした、大型水鳥の生態系ネットワーク構想を広く一般に広報を行うことを目的とし、各団体で行なわれている取組みを紹介した。

平成30年度 宍道湖水環境改善協議会 決算書

【歳入】

(単位:円)

費目	予算額(A)	収入額(B)	(B)-(A)	備考
1. 負担金	2,782,000	2,782,000	0	松江市 2,002,000 出雲市 780,000
2. 繰越金	632,683	632,683	0	
3. 諸収入	17	17	0	預金利息
合計	3,414,700	3,414,700	0	

【歳出】

費目	予算額(A)	支出額(B)	(B)-(A)	備考
1 会議費	40,000	28,563	△ 11,437	会場使用料等
2 事務費	78,000	67,013	△ 10,987	消耗品、振込手数料、郵送料
3 事業費	3,181,500	2,889,350	△ 292,150	
1 一斉清掃	310,000	208,276	△ 101,724	ごみ収集運搬委託費201千円
2 ヨシ関連事業	1,140,000	1,193,086	53,086	ヨシ紙製作委託648千円、 ヨシ運搬委託141千円、 メモ帳追加139千円
3 環境関連啓発事業	915,500	988,092	72,592	りびえ〜る掲載511千円、 ウェブサイト保守委託259千円 啓発ノベルティーかばん116千円
4 斐伊川水系の上下流交流	505,000	351,875	△ 153,125	環境学習委託155千円 大型バス貸切料78千円 宍道湖遊覧船貸切料76千円
5 調査研究	311,000	148,021	△ 162,979	勉強会講師旅費等
4 予備費	115,200	0	△ 115,200	
合計	3,414,700	2,984,926	△ 429,774	

収入合計	3,414,700
支出合計	2,984,926
差額	429,774 (次年度繰越額)

監 査 報 告 書

宍道湖水環境改善協議会規約第7条第3項の規定に基づき、平成30年度宍道湖水環境改善協議会収支決算について監査を実施した結果、会計帳簿、領収書並びに金融機関の預金通帳といずれも合致し、正確であることを認める。

令和元年5月31日

監 事 国土交通省中国地方整備局出雲河川事務所長 大 作 和 弘

監 事 島根県環境生活部長 松 本 修 吉

※ 個人情報保護の観点から、印影については資料に掲載いたしません。

令和元年度 事業計画（案）

負担金事業

1. 中海・宍道湖一斉清掃 【資料編 p. 22】

宍道湖ならびに流入河川の沿岸住民・事業所等が一斉に清掃活動を行うもの。6月の環境月間の行事として平成7年から実施しており、令和元年度で25回目となる。ラムサール条約登録を契機に平成18年度から中海圏域と併せて実施している。

実施日 令和元年6月9日（日）

参加者 宍道湖 82団体 3,502人(全体 6,665人)住民、企業、団体等

ごみの量 宍道湖 6.93t(全体 12.07t)

2. ヨシ関連事業

宍道湖の水質保全のためには、ヨシ帯の適正な管理が必要である。引き続き刈り取り事業の実施と刈り取ったヨシの利活用事業に取り組む。また、当事業によって得られたヨシ紙の幅広い利用の促進や草抑えとしての活用を図る。

[ヨシ刈り取り事業]

実施時期 令和元年12月～令和2年3月上旬（年4回程度を予定）

実施場所 「宍道湖西岸なぎさ公園」湖岸（出雲市斐川町坂田）

松江市域の宍道湖湖岸 他

[ヨシ紙、手すき用ヨシパルプの作成]

実施内容 刈り取ったヨシを使い、ヨシ紙と手すき用ヨシパルプを作成し、環境学習用資材として市内の学校へ提供するとともに、紙すき体験教室などに利用する。

[ヨシ紙、手すき用ヨシパルプの活用]

実施内容 民間団体・学校・行政機関などへ無償で提供し、広く活用してもらえるよう働きかける。

[草抑えとしての活用]

事業概要 刈り取ったヨシを市民に提供し、草抑えとしての活用について協力可能な個人・団体を募るなど、広い範囲での利活用を図る。

実施期間 令和元年12月～無くなり次第終了

配布先 出雲市・松江市内の各所

3. 環境関連啓発事業

宍道湖の水環境に興味を持つ契機とすることを目標に、小学生を対象に、水と直接的に触れ合うようなイベント、環境学習会等を開催する。

[環境学習会：手長エビ採り体験]

事業概要 宍道湖の豊かな自然に触れてもらい、郷土愛や水環境への理解を深めてもらうことを目的にエビ採り体験を実施する。

開催場所 千鳥南公園水辺（松江市役所前）

事業対象 松江市内の小学生とその家族

実施時期 令和元年7月26日（金）

[環境学習会：シジミ採り体験]

事業概要 宍道湖の豊かな自然に触れてもらい、郷土愛や水環境への理解を深めてもらうことを目的に日本シジミ研究所と協力し、シジミ採り・乗船体験や宍道湖産シジミを使ったみそ汁の試食会など実施する。

開催場所 宍道湖湖岸（松江市玉湯町（日本シジミ研究所水辺））

事業対象 松江市・出雲市の小学生とその家族

実施時期 令和元年8月20日（火）

[環境学習会：ヨシ紙すき体験教室]

事業概要	刈り取ったヨシで作成したヨシパルプを利用し、ヨシ紙すき体験を行い、はがきの作成を行う。
開催場所	斐川環境学習センター
事業対象	松江市・出雲市在住の小学生
実施時期	令和元年8月25日（日）

[宍道湖イメージ絵画募集] **新規**

事業概要	将来の宍道湖イメージ像を絵にしたものを募集し、優秀者には表彰する。作品は協議会の様々な事業に活用し、水環境保全意識啓発に努める。
事業対象	松江市・出雲市在住の小学生
実施時期	令和元年7月～9月

4. 斐伊川水系の交流事業

治水サイドと連携し、斐伊川流域における上流部を訪問し、雲南市・奥出雲町住民との交流や施設見学を行い、宍道湖だけでなく斐伊川水系全体の水環境改善の意識を高めるイベントを実施する。

[斐伊川水系上流部の各施設見学]

事業概要	尾原ダム等各種施設の見学や、水質調査等による水環境の比較するなどして治水と水環境保全を絡めた学習会を実施する。
開催場所	尾原ダム、雲南市・奥出雲町の各種施設 他
事業対象	松江・出雲の小学生とその家族
実施時期	令和元年10月（さくらおろち湖祭り開催日）

〔斐伊川水系上流部の水質調査やオオサンショウウオの観察〕 **新規**

事業概要 上流部と下流部の双方の小学生が交流し、奥出雲町横田の加食地区で水質調査やオオサンショウウオの観察を実施する。

開催場所 奥出雲町横田 加食地区 他

事業対象 松江市・出雲市・奥出雲町の小学生

実施時期 令和元年7月30日（火）

5. 調査研究事業

宍道湖の水環境改善に対して、より効果的な対策・施策を提案するために、平成30年度に引き続き専門家による勉強会の開催、および国・県と連携した水草対策を行う。

〔専門家を招いた勉強会〕

事業概要 「宍道湖水環境改善のために行政がいますべきこと」をテーマに専門とする識者を招聘して委員への講義・意見交換をおこなうもの。

事業対象 協議会委員、幹事、担当者

実施時期 令和元年11月

〔水草対策〕

事業概要 宍道湖で繁茂する水草対策について、国・県と連携し水草対策を実施する。

連携事業

1. 砂浜再生プロジェクト（国交省出雲河川事務所）

「松江イングリッシュガーデン湖岸親水ゾーン」については、定期的に巡視等で状況を確認し、経過観察を行う。変化等あれば適宜対応し、良好な環境等を保つ。

事業主体	国土交通省中国地方整備局出雲河川事務所・松江市（親水ゾーン管理）、島根県（モニター定期調査）
事業箇所	松江イングリッシュガーデン湖岸親水ゾーン（松江市西浜佐陀町） 他

2. 水草対策（国交省出雲河川事務所・島根県）

[水草試験] 【資料編 p. 23-24】

平成 29 年から国・県・市の役割分担を明確にし、連携の強化を図るなど適切な対応を行っている。

昨年に引き続き、刈り取り試験を実施する。昨年は根こそぎ刈り取りによる効果の確認を行ったが、今年度は玉湯沖の別箇所において、根を残して刈り取りを行い再繁茂状況を確認する試験を実施する。

事業主体	国土交通省中国地方整備局出雲河川事務所
事業箇所	松江市玉湯町沖合（予定）
実施日	7月～8月（予定）

[宍道湖における水草等の異常繁茂による水質影響等調査]

事業主体	島根県
実施時期	令和元年 5 月～11 月
実施場所	秋鹿沖

事業内容 水草等が異常繁茂する沿岸域（水深約 2 m）において、繁茂期前から等深線に沿うように一定範囲（幅約 10m×長さ約 100m）の湖底を定期的（概ね週 1 回）に漁具等で掻き、水草等を除去繁茂抑制する。こうした効率的な除去方法により掻き取りの範囲及びその岸側に残る水草等の繁茂範囲において底層溶存酸素量が維持されるか検証する。

[水草の根こそぎ除去実証試験事業]

事業主体 島根県

実施日 令和元年 5 月 15 日（水）

実施場所 秋鹿港沖

事業内容 夏以降の抑制効果を確認するため、水草の繁茂前に根こそぎ除去試験をする。

・令和元年 5 月 除去作業

・令和元年 7 月 潜水調査して効果検証・事業の総括

[官民連携による水草の回収から資源化・利活用までのスキームの構築]

事業主体 島根県

実施時期 平成 30 年度～平成 31 年度

事業概要 地域における官民連携による水草等の回収から資源化・利活用までのスキーム構築を図る。

3. 宍道湖・斐伊川環境フェア（国交省出雲河川事務所）

事業主体 宍道湖・斐伊川環境フェア実行委員会

実施日 令和元年 8 月～11 月

実施場所 未定

実施内容 大型水鳥に関する啓発活動

令和元年度 宍道湖水環境改善協議会 予算書 (案)

【歳入】

(単位:円)

費目	R1予算額	H30予算額	前年比増減額	備考
1 負担金	2,782,000	2,782,000	0	(面積割り積算) 松江市 2,002,000 出雲市 780,000
2 繰越金	429,774	632,683	△ 202,909	
3 諸収入	26	17	9	
合計	3,211,800	3,414,700	△ 202,900	

【歳出】

費目	R1予算額	H30予算額	前年比増減額	備考
1 会議費	37,000	40,000	△ 3,000	総会
需用費	5,000	10,000	△ 5,000	消耗品
賃借料	32,000	30,000	2,000	総会開催時会場使用料等
2 事務費	100,000	78,000	22,000	
需用費	50,000	70,000	△ 20,000	消耗品等
役員費	50,000	8,000	42,000	郵送料、振込手数料等
3 事業費	3,025,300	3,181,500	△ 156,200	
1 一斉清掃	220,000	310,000	△ 90,000	中海・宍道湖一斉清掃
役員費	0	30,000	△ 30,000	
委託費	220,000	280,000	△ 60,000	ゴミ運搬委託料
2 ヨシ関連事業	1,299,800	1,140,000	159,800	ヨシ紙の利活用
需用費	230,800	90,000	140,800	メモ帳作製、消耗品等
役員費	150,000	130,000	20,000	鎌研ぎ、傷害保険料
委託費	919,000	920,000	△ 1,000	ヨシ紙・パルプ作製委託、ゴミ運搬委託
3 環境関連啓発事業	713,500	915,500	△ 202,000	水辺の教室など
報償費	113,500	6,500	107,000	宍道湖絵画コンクール表彰
需用費	170,000	89,000	81,000	ノベルティーグッズ購入費、消耗品等
役員費	10,000	520,000	△ 510,000	参加者保険料等
委託費	320,000	300,000	20,000	ウェブサイト保守
使用料及び賃借料	100,000	0	100,000	絵画コンテスト優秀作品の展示
4 斐伊川水系の上下流交流	500,000	505,000	△ 5,000	
需用費	10,000	10,000	0	消耗品等
役員費	10,000	5,000	5,000	参加者保険料等
委託費	300,000	300,000	0	事業運営委託等
使用料及び賃借料	180,000	190,000	△ 10,000	バス借り上げ料等
5 調査研究	292,000	311,000	△ 19,000	専門家を招いた勉強会等
報償費	14,000	14,000	0	勉強会講師謝金
旅費	68,000	68,000	0	勉強会講師旅費
需用費	5,000	0	5,000	消耗品等
委託費	160,000	200,000	△ 40,000	水草試験等
使用料及び賃借料	45,000	29,000	16,000	勉強会会場
4 予備費	49,500	115,200	△ 65,700	
合計	3,211,800	3,414,700	△ 202,900	